



さ さ づ か

令和2年3月2日発行

<学校の教育目標>

- 互いの違いを認め 高め合う子
- 主体的に学び 創造する子
- 心身をきたえ たくましい子

「チーム 笹塚 31」

(Tel) 3377-2344 (Fax) 3377-2466 (HP) <<http://www.fureai-cloud.jp/sasasho/>>

校長 荒木 憲秀

令和元年度 学校評価について

昨年11月に、保護者の皆様および児童・教職員を対象にとったアンケート調査の結果をもとに、学校としての自己評価をまとめ、学校運営協議会委員による学校関係者評価を行いました。(第1回:1月17日、第2回:2月27日)項目によってはかなり厳しい結果となりましたが、課題として真摯に受け止め、次年度へ向けて改善に努めてまいります。グラフ右側の割合(%)は肯定的な回答の合計を、さらに右の【 】内の数値は学校の自己評価(達成状況)を表します。達成状況は、「4:十分達成できた、3:おおむね達成できた、2:あまり達成できなかった、1:全く達成できなかった」の4段階で評価しています。

保護者アンケートの結果

令和元年11月実施:回答数260家庭(71.2%)

自己評価
(達成状況)

項目	割合(%)	自己評価(達成状況)
① 学校は、子供たちが明るく、楽しく生活する雰囲気になっている 笹塚小学校の教育活動に満足している	88.0%	【3】
② 学校は、わかりやすい授業の実施に努めようとしている	77.6%	【3】
③ 学校は思いやりをはぐくむ心の教育をすすめている	83.1%	【3】
④ 学校はいじめの未然防止、早期発見に向けて取り組んでいる	77.8%	【4】
⑤ 学校は、一人一人の個性を伸ばす教育活動をしようとしている	62.8%	【2】
⑥ 学校は、学力向上を目指した取り組みをしている	58.0%	【2】
⑦ 学校は ICT 機器の活用をしている	77.7%	【3】
⑧ 教職員は子供たちのことをよく理解しようとしている	84.4%	【3】
⑨ 教職員は誠意をもって相談に応じようとしている	82.7%	【3】
⑩ 学校は、子供たちの安全に対する配慮をしようとしている	84.0%	【4】
⑪ 学校には、教育に必要な施設・設備が整っている	86.3%	【4】
⑫ 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えようとしている	79.4%	【3】
⑬ 学校は、保護者や地域の願いにこたえようとしている	74.5%	【3】
⑭ 学校は、地域との連携に努め、教育活動を充実させようとしている	68.3%	【3】
⑮	83.5%	【3】

児童アンケートの結果

令和元年11月実施:回答数448名(100%)

① 学校は楽しい	73.8%
② 学校の授業はよくわかる	76.6%
③ 優しい気持ちや思いやりの心をもって友達と接している	83.1%
④ タブレットを使った授業で考えが広がったり深まったりした	69.1%
⑤ 学校の運動を通して、体力を高める努力をしている	73.8%
⑥ 学校のきまりは守れている	68.8%

■ 十分達成されている ■ 達成されている □ あまり達成されていない □ 達成されていない □ わからない

なお、アンケート結果ならびに学校関係者評価の結果につきましては、3月初旬を目途に学校ホームページにも公開いたしますので、あわせてご覧ください。次頁より、それぞれの評価分野ごとに、学校の自己評価ならびに学校関係者評価委員会(以下、「評価委員会」と表記します)の場でいただいたご意見等も踏まえながら、今後の改善の方向性について詳しくお伝えしてまいります。

学校が明るく楽しく生活できる雰囲気になっているか、という項目④では、9割近い保護者の皆様から、肯定的な回答をいただきました。しかし児童アンケート結果①を見ると、1/4以上の児童が否定的な回答をしています。評価委員会においても、この点は重く受け止め十分ではない、と感じている児童や保護者の声を丁寧に聞き取り、改善に通泊めてもらいたい、との意見が出されました。

学校としては、保護者アンケートの項目③、児童アンケートの②とも関連しますが、児童が「学校が楽しい」と感じるためには、授業が楽しいこと、分かる・できるようになる授業でなければならないと考え、授業改善の推進を改善策として挙げました。具体的には、国語科を中心とした校内研究の推進、算数科や理科における習熟度別指導やTT指導の充実を図り、すべての児童が「できた」「分かった」と感じられる授業づくりに努めてまいります。授業改善を通じて、次年度の児童アンケートの結果①②の肯定的な回答の割合を85%以上にすることを目指します。

保護者アンケートの項目②,⑬,⑭,⑮、本校の教育活動への満足度や保護者・地域の思いや願いを受けた教育活動についての項目からは、「地域連携に努めていることは理解できるが、十分にその思いに応えているとは言えない」という保護者の皆様の思いが読み取れます。評価委員会においても、「笹塚地区は地域がしっかりしており、協力的である。現在もよく連携が図られていると思うが、地域や保護者の思いや願いをしっかりと汲み取り、現在の取組をさらにブラッシュアップさせたり、新しい取組に挑戦したりして、笹塚小学校ならではの特色ある教育活動を推進してほしい。」という意見が出されました。

本校は、今年度よりコミュニティスクール（CS）になり、地域や保護者の皆様の声を、より学校運営に反映しやすい仕組みができました。それが新たに設置された「学校運営協議会」という組織です。次年度は、学校運営協議会の開催回数や協議内容のさらなる拡充を図ります。また、協議会委員の方々や協議会での議事録等を、児童はもちろん、保護者や地域の皆様にも広く周知したいと思います。それにより、より地域や保護者の皆様からの声が学校に届きやすい仕組みを作っていけるものと考えます。評価委員会では、もっと学校の取組を積極的にアピールしてもよいのでは、という意見も出されました。次年度は、学校ホームページを充実させ、積極的な情報発信にも努めてまいります。

続いて、保護者アンケートの④,⑤および児童アンケートの③、心の教育に関する項目についてです。学校の第一次自己評価では、どちらも「3」にしておりましたが、評価委員会で「思いやりをはぐくむ教育については、保護者回答の数値も一定の手応えを感じていることを示しており、何より児童の意識が思った以上に高い。」という見解が出されたことから、心の教育については自己評価を「4」に修正いたしました。今後、特別の教科 道徳の学習をさらに充実させ、また特別活動における豊かななかかわりを充実させ、心の教育をさらに進めていきたいと思えます。

いじめ防止の項目については、今年度中に、少なくとも「いじめ対策委員会」を立ち上げて対応してきた案件があったことを受け、自己評価は「2」としました。評価委員会では、厳しい自己評価は妥当であるとしながらも、保護者の「わからない」という回答割合が高いことから、「学校がどのような取組をしているのか、保護者には見えにくいのではないか。」という意見も出されました。具体的に個々の案件について取組を公表するわけにはまいりませんが、年に3回とっている「いじめアンケート」で気になる回答がどれくらいあるのか、それに対して学校として未然防止や解決に向けてどのように取り組んできたのか等々、安心して児童を学校に送り出してもらうためには、学校の取組を知っていただくための情報発信も必要だと感じました。

次に保護者アンケートの項目⑥、一人一人の個性を伸ばす教育活動についてです。この項目は、例年肯定的な回答の割合が低い項目であり、評価委員会でも様々な意見が出されました。中でも複数の委員から挙げられたのは、「『個性』という言葉はどうとらえるのかによって、評価も変わってくるのではないか。」というご意見でした。

学校としては、大きく2種類の「個に応じた教育」を考えております。一つは、学習の習熟度の個人差です。つまづきや学び残しを少しでも少なくするように、算数科における習熟度別指導を行ったり、放課後学習クラブ（まなび〜）における補習授業を行ったり、学習支援員による個別の学習支援を行ったりすること等が、その解決のための取組です。もちろん、休み時間や放課後に、担任が個別指導を行うこともそのひとつです。

もう一つが、特別な支援を必要とする児童への取組です。東京都では、すべての公立学校に特別支援教室（本校では「やまぶき」と呼んでいます）が設置され、個別の課題に応じた学習を行っています。そういった児童の特性を、本人や学級担任、クラスメイトの友人たちが理解し、互いに支え合い、よさを生かし合うような教育（インクルーシブ教育）を推進することが求められています。

次年度は、本項目についてはそういった具体的な取組項目を補助設問として設けることで、もう少し評価や改善策が明確になるのではないかと考えます。ただし、回答した皆様がどちらをイメージしていたのかに依らず、今年度の評価が低いことは事実ですので、上記の取組について、さらなる充実を図る必要があることは間違いありません。真摯に受け止め、改善を図ってまいります。

続いて保護者アンケート⑦,⑧ならびに児童アンケート④、学力向上とICTの活用についての項目です。これらの結果から見えてくるのは、「学校はタブレットをはじめとしたICT機器を積極的に活用しているが、そのことが学力向上につながっているのかどうか、実感できるまでには至っていない。」という実態です。教員にとっても、この点についてはかなり課題意識が高く、日常的に活用できるようにはなったものの、効果的な活用といった点ではまだ自信をもてないという教員がまだかなりいることは事実です。未だ「トライアル&チャレンジ」の最中です。次年度は本格的にプログラミング学習がスタートします。連携校の笹塚中学校とも協力しながら、より効果的なICT活用を図るべく、研修を重ね、授業改善に努めてまいりたいと思います。また、授業改善とあわせて、タブレットの持ち帰りによる家庭学習の充実も推進し、個々の児童の基礎・基本の定着も図ってまいります。

保護者アンケートの⑨,⑩は、教職員に関する項目です。どちらも8割以上の肯定的な回答でした。学校としての一次評価はどちらも「3」でしたが、評価委員会の委員から、「日々の授業はもちろん、運動会や学芸会等の学校行事でも、常に児童の実態をよく理解して指導にあたっている様子が見られる。」というご意見をいただきました。また「保護者や地域の相談にも、誠意をもって組織で対応しようと努めていることがうかがえる。」とのご意見をいただきましたので、項目⑩の自己評価を「4」に修正いたしました。今後とも、時期を逃さず、こまめな情報共有と組織的な対応を心がけ、信頼される学校づくりに努めてまいります。

同じく⑪,⑫は、学校安全および教育環境に関する項目です。すべての教育活動は安全が最優先されなければなりません。安全管理については日頃から意識を高くもつよう、教職員一同心掛けております。それでも事故やけがを0にすることは難しく、どちらも学校としての一次評価は「3」としました。しかし評価委員会で「事故を完全に防ぐことは難しい。しかし、学校として意識を高くもち地域との連携も含め十分な取組をしている。保護者の評価も高い数値を示している。」というご意見をいただきましたので、安全に関する項目は自己評価を「4」に修正いたしました。引き続き、高い危機意識をもって児童、学校設備の安全確保に努めてまいりたいと思います。

最後になりますが、次頁にアンケート裏面にて個別にいただいたご意見に対する回答を記載させていただきます。個々のご要望や思いに十分に答えきれていない部分もありますが、今後とも学校運営協議会を中心として、保護者・地域の皆様と協力しながらよりよい教育活動を推進してまいりたいと思います。

教育活動と子供の様子

- 漢検・数検を、再度実施してほしい。
 - ➔ 学校主体での実施は難しいのが現状です。区が設置を進めている、地域学校協働本部が立ち上がった暁には、ぜひ検定を事業計画に盛り込むことを検討していただきたいと考えています。
- タブレットの活用を、もっと進めてほしい。
 - ➔ ICT 利活用促進については、全学年でのプログラミング学習の導入や家庭学習での活用、笹塚中学校との連携も含め、次年度はさらに推進を図ってまいります。
- 冬季に、縄跳び・マラソン大会を実施してはどうか。
 - ➔ 大会の実施は難しいと思いますが、運動の日常化を目指した「笹リンピック」でマラソンや短縄に重点的に取り組む期間を設ける等、体力向上に向けた取組を進めてまいります。

教職員

- 思いやりを育む教育を、重点的に実施してほしい。
 - ➔ 次年度教育課程の基本方針の最初に位置付け、「思いやり」という言葉を明記しました。今後も、学校・地域・家庭が連携し、すべての教育活動を通じて思いやりを育む教育を推進してまいります。

教育環境整備

- 夏のエアコンが効かなかった時期の対応について。 / 体育館へのエアコン設置について。
体育館が汚いことや、トイレの使用について。 / 破損した延長コードの使用について。
 - ➔ 施設・設備に関しては、老朽化への対応も含め区への要望は続けてまいります。一方で、今ある施設・設備を少しでも長く、安全に使用できるよう、清掃や補修等、学校でできることは確実に実施し、開放利用団体の皆様にもご協力いただきながら大切に使用していきたいと思っております。

家庭・地域との連携

- 運動会の観覧席不足、屋上を開放しては。 / 開門は時間厳守で。
 - ➔ 屋上の開放は、安全管理上難しいですが、開門時刻や観覧スペースの工夫等、次年度へ引継ぎ工夫・改善につなげてまいります。
- 運動会や学芸会、観覧席確保のマナーが悪い。
 - ➔ PTA の協力により、ずいぶんマナーアップにつながっていると感じます。さらに保護者の皆様のマナーが向上し、お互い気持ちよく鑑賞できるよう、PTA と連携してまいります。

その他

- 欠席連絡、メールで送れないか。
 - ➔ 教員は個別のアドレスを付与されていないので、メールでのやりとりはできません。真に止むを得ない事情がある場合に限り電話での連絡もお受けいたしますが、現行通り連絡帳での連絡を原則といたします。
- 忘れ物、4:45以降も取りに行けないか。
 - ➔ 緊急の場合は、この時間以降にお越しいただくことも可能ですが、教員が対応できないため施設管理員の対応となり、必要なものが持ち帰れない場合もあります。ご了承ください。
- アンケート、オンラインにできないか。 / 無記名にできないか。
 - ➔ ご意見中にもありましたが、区としてのインフラ整備も必要です。記名の件も含め、ご意見は学校運営協議会で協議して学校としての方向性を決め、また教育委員会にも要望してまいります。